

いじめ防止基本方針

徳島市佐古小学校

1 いじめの防止等に関する基本的な考え方

- (1) 教育活動全体を通じ、全ての児童に「いじめは決して許されない」ことへの理解を促し、児童の豊かな情操や道徳心、自分の存在と他人の存在を等しく認め、お互いの人格を尊重し合える態度など、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養う。
- (2) いじめはどの子どもにも起こりうる、どの子どもも被害者にも加害者にもなりうるという事実を踏まえ、児童の尊厳が守られ、児童をいじめに向かわせないための未然防止に、全ての教職員が取り組む。
- (3) ささいな兆候であっても、いじめではないかとの疑いを持って、早い段階から複数の教職員で的確に関わり、いじめを隠したり軽視したりすることなく、いじめを積極的に認知する。
- (4) 発見・通報を受けた場合には、特定の教職員で抱え込まず、速やかに組織的に対応し、被害児童を守り通すとともに、教育的配慮の下、毅然とした態度で加害児童を指導する。
- (5) より多くの大人が子どもの悩みや相談を受け止めることができるようにするため、学校と家庭、地域が組織的に連携・協働する体制を構築する。
- (6) いじめる児童に対して必要な教育上の指導を行っているにもかかわらず、その指導により十分な効果を上げることが困難な場合などには、関係機関（警察、児童相談所等）との適切な連携を図るとともに、平素から、学校と関係機関の担当者との情報共有体制を構築する。

2 いじめの防止等の対策のための組織

- (1) 組織の構成
いじめの防止・早期発見・対処に当たっては、学年主任を中心とした学年団のみならず、管理職や教務主任、生徒指導主任、養護教諭を含めた児童を取り巻く全教員をもって組織とする。
- (2) 組織の役割
 - ① 学校基本方針に基づく取組の実施や具体的な年間計画の作成・実行・検証・修正を行う。
 - ② 児童・保護者や教職員等から、いじめの相談や通報を受けた教職員は、当該児童の学級担任及び当該学年主任に知らせるとともに、管理職員へ報告する。
 - ③ いじめの疑いに係る情報や児童の問題行動などに係る情報の収集と記録は当該児童の学級担任が行うとともに、当該学年間で共有を行う。
 - ④ 緊急会議を開いて、いじめの情報の迅速な共有、関係のある児童への事実関係の聴取、指導や支援の体制・対応方針の決定と保護者の連携を行う。

3 教育相談体制

- (1) 教員と児童及び保護者、さらには児童間の好ましい人間関係の醸成に努める。
- (2) 児童の個人情報に配慮するとともに、教員に相談すれば、秘密の厳守はもとより、教員は必ず自分を助けてくれるという安心感や信頼感の醸成に努める。
- (3) 定期的な教育相談週間や相談日等を設定するなど、児童はもとより、保護者も気軽に相談できる体制を整備し、保護者からの相談を直接受け止められるようにする。
- (4) 相談の内容によっては指導を継続し、必要に応じて医療機関等の専門機関との連携を図る。
- (5) 児童や保護者に対して、広く教育相談が利用されるよう、学校の内外を問わず多様な相談窓口について広報・周知に努める。

4 いじめの未然防止のための取組

- (1) 教育・指導場面
 - ① 「いじめは人間として絶対に許されない」との強い認識を、学校教育全体を通

じて、児童一人一人に徹底する。

- ② 教育活動全体を通じた道徳教育や人権教育の充実、読書活動・体験活動などの推進により、児童の社会性を育むとともに、幅広い社会体験・生活体験の機会を設け、他人の気持ちを共感的に理解できる豊かな情操を培い、自分の存在と他人の存在を等しく認め、お互いの人格を尊重する態度を養う。
- ③ 全ての児童が心の通じ合うコミュニケーション能力を育み、規律正しい態度で授業や行事に参加・活躍できる授業づくりや集団づくりを行う。
- ④ 授業についていけない焦りや劣等感などが過度なストレスとならないよう、一人一人を大切にしたい分かりやすい授業づくりを進める。
- ⑤ ストレスを感じた場合、それを他人にぶつけるのではなく、運動や読書などで発散したり、誰かに相談したりするなどストレスに適切に対処できる力を育む。
- ⑥ 学校の教育活動全体を通じ、児童が活躍でき、他者の役に立っていると感じることのできる機会を全ての児童に提供し、児童の自己有用感が高められるよう努める。また自己肯定感を高められるよう、困難な状況を乗り越えるような体験の機会などを積極的に設ける。
- ⑦ 学級活動や道徳の時間に、いじめに関わる問題を取り上げ、いじめは人権侵害であり、絶対に許されない行為であることを毅然と指導する。
- ⑧ インターネット上に他人を誹謗・中傷する情報を発信することは「いじめ」であり、決して許される行為ではないことを児童に徹底するとともに、インターネットを通じて送信される情報の特性に関する学習や情報モラル教育について学校全体で取り組む。
- ⑨ 児童会活動などにおいて、児童自身の主体的な参画によるいじめ問題への取組が促進されるよう適切な指導や助言を行う。
- ⑩ 児童の言葉や態度及び遊び等に注意を払い、不適切な場合は指導する。
- ⑪ 教職員の言動が、児童を傷付けたり、他の児童によるいじめを助長したりすることがないように、細心の注意を払う。
- ⑫ いじめが解決したと見られる場合でも、継続して十分な注意を払い、折に触れて必要な指導を行う。

(2) 家庭・地域社会との連携

- ① 学校いじめ防止基本方針や指導計画を公表し、保護者や地域住民の理解を得るよう努める。
- ② 家庭や地域社会と連携して、いじめ問題の解決を進める姿勢を示すとともに、必要に応じて警察・児童相談所との円滑な連携や情報の共有を図る。
- ③ P T Aや地域の関係団体とともに、いじめ問題について協議する機会を設け、いじめの根絶に向けて、地域ぐるみの対策を推進する。

5 早期発見・早期対応の在り方

- (1) 各学期の始業式及び入学式等において、すべての児童や保護者に対して、いじめを許さない学校の取組や、いじめられている児童を全力で守りぬくことを明らかにし、児童や保護者が学校を信頼し、安心していじめ等の相談をできるよう働きかける。
- (2) 「いじめ発見のための観察ポイント（教員用）」等を使用しつつ、日常的にいじめの発見に努め、児童が発する危険信号を見逃さず、その一つ一つに的確に対応する。
- (3) 全児童を対象としたいじめ発見のための「アンケート調査」を定期的を実施することに加え、「個別面談」、「日記や連絡帳」の記述等から、児童の悩みや対人関係での状況をきめ細かく把握し、いじめの認知については、「いじめの防止等の対策のための組織」において組織的に判断する。
- (4) いじめの把握にあたっては、教育相談担当教諭、養護教諭、スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーター等、学校内の専門家との連携に努める。

- 特に、けが等にも留意し、背景にいじめがないか確認する。
- (5) 児童に絶えず声かけを行い、児童が日常使っている言葉や態度、遊び等に注意を払うとともに、気付いたことについて教職員の情報交換を密に行う。
 - (6) 児童が欠席や遅刻をしたり、けがをしていたりした場合は、必ずその理由を確認し、保護者と連絡を取る。
 - (7) いじめについて訴えや情報があった時は、問題を軽視することなく、保護者や友人関係等からの情報収集を通じて事実関係を正確に調査し、いじめを認知した場合は、速やかに市町村教育委員会に報告し、適切な連携を図る。
 - (8) 保護者に対して、「いじめ発見のための観察ポイント（保護者用）」を配布するなど、いじめ問題への関心をもってもらい、保護者からの情報提供を促す。

6 いじめへの対処

(1) いじめの発見・通報を受けたときの対応

- ① いじめの訴えや情報及び兆候等があった時は、管理職の指示のもと、問題を軽視することなく、正確かつ迅速に事実関係の把握を行う。
- ② 「いじめの防止等の対策のための組織」において、速やかに関係児童等から事情を聴取するなど必要な調査を実施するとともに、認知したいじめへの対応方針を決定する。
- ③ 職員会議等を通じて、いじめの情報を共有し、対応方針について全教職員の共通理解を図る。
- ④ いじめられた児童、いじめた児童への具体的な支援や指導について、教職員一人一人の役割分担を明確化し、組織的に対応するとともに、保護者に対して適切に情報提供を行い、連携・協力を図る。

(2) いじめられた児童、保護者への支援

- ① いじめられた児童を徹底して全力で守りぬく。
- ② いじめられた児童が安心して教育を受けられるようにするために必要な措置を講ずる。
- ③ 複数教員による家庭訪問を行う。
- ④ 本人や保護者に必要な情報を適切に提供する。
- ⑤ 本人や保護者の気持ちに寄り添い、要望や相談には適切に対応する。
- ⑥ スクールカウンセラーの活用等、専門家による継続的な心のケアに取り組む。

(3) いじめた児童への指導と保護者への助言

- ① 毅然とした対応と粘り強い指導を通じて、行為に対する十分な反省を促す。
- ② いじめられた児童を守る観点から、必要に応じて別教室等での学習を行わせる。
- ③ いじめの背景を考え、行為に対する責任を明確にし、再発防止に努める。
- ④ 複数教員で家庭訪問を行い、保護者に説明を尽くし、理解と協力を求める。

(4) 他の児童への指導

- ① 新たないじめを防止するための指導の徹底を図る。
- ② 傍観者や取り巻きもいじめを助長していることを理解させ、「いじめは人間として絶対に許されない」との意識を徹底させる。
- ③ 児童自身の主体的な参画によるいじめの問題への取組促進などにより、いじめを許さない学校づくりを進める。

(5) 教育委員会等への報告と連携

- ① いじめを認知した場合は、学校長が速やかに市町村教育委員会に報告し、適切な連携を図るとともに、いじめられた児童を守る観点から、必要に応じて出席停止措置の適用を要請する。
- ② 事案によっては、県教育委員会と連携し、阿波っ子スクールサポートチームや学校問題解決支援チーム、スクールカウンセラーの派遣を要請し、外部専門家の力を借りて対応する。

(6) 関係機関への相談・通報

- ① 恐喝，暴行，傷害等の犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案は，ためらうことなく早期に警察に相談し，警察と連携した対応を取る。
- ② 生命又は身体の安全が脅かされるような場合には，直ちに警察に通報する。
- ③ ネット上のいじめが行われた場合，いじめに係る情報の削除依頼や発信者情報の開示請求について，必要に応じて警察や法務局に協力を求める。

7 校内研修

全ての教職員の共通認識を図るため，年に一回以上，いじめを始めとする生徒指導上の諸問題に関する校内研修を行う。

8 重大事態への対処

いじめにより，児童の生命，心身又は財産に重大な被害が生じたり，相当の期間学校を欠席することを余儀なくされたりしている疑いがあると認めるとき，事実確認の結果を直ちに市町村教育委員会に報告するとともに，市町村教育委員会と連携して対処する。

9 取組の評価

- (1) いじめ問題への取組等について，学校評価の項目に加え，自校の取組を評価する。
- (2) PDCAサイクルの考え方に従い，年間計画で決めた期間の終わりには，「取組評価アンケート」等を実施し，その結果を踏まえてその期間の取組が適切に行われたか否かを検証する。
- (3) 期待するような指標等の改善が見られなかったような場合には，その原因を分析し，次の期間の取組内容や取組方法の見直しを行う。

10 年間計画

	「いじめの防止等の対策のための組織」・校内研修等	1年	2年	3年
4月	学校基本方針の説明, 指導体制や指導計画の 公表・共通理解 校内研修	個人懇談 1年生を迎える会	個人懇談 1年生を迎える会	個人懇談 1年生を迎える会
5月	問題行動の共通理解	授業参観・PTA総会 読書活動開始	授業参観・PTA総会 読書活動開始 1年生との交流 心の健康観察開始	授業参観・PTA総会 読書活動開始 心の健康観察開始
6月		授業参観 愛日タイム(縦割り) 自然体験活動	授業参観 愛日タイム(縦割り) 自然体験活動	授業参観 愛日タイム(縦割り) 予防教育
7月	校内研修	水泳学習 個人懇談 校外補導	水泳学習 個人懇談 校外補導	水泳学習 個人懇談 校外補導
8月	1学期取組点検評価・ 改善 取組の成果等の情報発 信と保護者啓発	校外補導 地域子ども会活動	校外補導 地域子ども会活動	校外補導 地域子ども会活動
9月	アンケート調査 アンケート調査分析 保護者向けチェックリ スト配付	人権学習 清掃奉仕活動	人権学習 清掃奉仕活動	人権学習 清掃奉仕活動
10月		運動会	運動会	運動会
11月	校内研修	オープンスクール	オープンスクール	オープンスクール
12月	アンケート調査 アンケート調査分析 2学期取組点検評価・ 改善	人権集会 個人懇談	人権集会 個人懇談	人権集会 個人懇談
1月		授業参観 (スマイルタイム(L)) 佐古小体験入学	授業参観 (スマイルタイム(L))	授業参観 (スマイルタイム(L))
2月	校内研修	6年生を送る会	6年生を送る会	6年生を送る会
3月	1年間の取組点検評価 ・改善と次年度の計画			

	「いじめの防止等の対策のための組織」・校内研修等	4年	5年	6年
4月	学校基本方針の説明、 指導体制や指導計画の 公表・共通理解 校内研修	個人懇談 1年生を迎える会	個人懇談 1年生を迎える会	個人懇談 1年生を迎える会
5月	問題行動の共通理解 校内研修	授業参観・PTA総会 読書活動開始 心の健康観察開始	授業参観・PTA総会 読書活動開始 心の健康観察開始	授業参観・PTA総会 読書活動開始 心の健康観察開始 修学旅行
6月		授業参観 愛日タイム（縦割り） 予防教育	授業参観 愛日タイム（縦割り） 宿泊学習 予防教育	授業参観 愛日タイム（縦割り） 予防教育
7月	校内研修	水泳学習 個人懇談 校外補導	水泳学習 個人懇談 校外補導	水泳学習 個人懇談 校外補導
8月	1学期取組点検評価・ 改善 取組の成果等の情報発 信と保護者啓発	校外補導 地域子ども会活動	校外補導 地域子ども会活動	校外補導 地域子ども会活動
9月	アンケート調査 アンケート調査分析 保護者向けチェックリ スト配付	人権学習 清掃奉仕活動	人権学習 清掃奉仕活動	人権学習 清掃奉仕活動
10月		運動会	運動会	運動会
11月	校内研修	オープンスクール	オープンスクール	オープンスクール
12月	アンケート調査 アンケート調査分析 2学期取組点検評価・ 改善	人権集会 個人懇談	人権集会 個人懇談	人権集会 個人懇談
1月		授業参観 （スマイルタイム（L））	授業参観 （スマイルタイム（L））	授業参観 （スマイルタイム（L））
2月	校内研修	市音楽交歓演奏会 6年生を送る会	卒業式 6年生を送る会	卒業式 6年生を送る会
3月	1年間の取組点検評価 ・改善と次年度の計画			

11 いじめ発見チェックリスト（教師用）

朝の会 帰りの会	<input type="checkbox"/> 遅刻・欠席が増える <input type="checkbox"/> 始業時刻ぎりぎりの登校が目立つ <input type="checkbox"/> 表情がさえず、うつむきがちになる <input type="checkbox"/> 出席確認の際、声が小さい、ぼんやりしていることが多い <input type="checkbox"/> 持ち物が紛失したり、落書きされたりする
授業の 開始時	<input type="checkbox"/> 忘れ物が多くなる <input type="checkbox"/> 用具・机・いす等が散乱している <input type="checkbox"/> 周囲が何となくざわついている <input type="checkbox"/> 一人だけ遅れて教室に入る <input type="checkbox"/> 席を替えられている
授業中	<input type="checkbox"/> 頭痛・腹痛を頻繁に訴える <input type="checkbox"/> 保健室によく行くようになる <input type="checkbox"/> 配布物がきちんと配られない <input type="checkbox"/> グループ分けやグループ活動で孤立しがちである <input type="checkbox"/> 正しい答えを冷やかされる、発言すると周囲がざわつく <input type="checkbox"/> テストの成績が急に下がり始める、テストを白紙で出す
休み時間	<input type="checkbox"/> 教室や図書室で一人いる <input type="checkbox"/> 今までいっしょだったグループからはずれている <input type="checkbox"/> 訳もなく廊下や階段を歩いたり、用もないのに職員室へ来たりする <input type="checkbox"/> 友だちといっしょでも表情が暗い、どこかおどおどしている <input type="checkbox"/> 理由もなく服を汚していたり、ボタンが外れたりしている
給食時	<input type="checkbox"/> 机を寄せてグループをつくろうとしない <input type="checkbox"/> その児童生徒が配膳するといやがられる <input type="checkbox"/> 食べ物にいたずらされる（盛りつけなど） <input type="checkbox"/> 食欲がない <input type="checkbox"/> 笑顔がなく黙って食べている
清掃時	<input type="checkbox"/> その児童生徒の机やいすだけが運ばれず放置されている <input type="checkbox"/> その児童生徒の机やいすを蹴ったり、掃除用具でたたいたりする <input type="checkbox"/> 他の児童生徒から一人離れて掃除している <input type="checkbox"/> みなんどのいやがる分担をいつもしている <input type="checkbox"/> 目の前にゴミを捨てられる
放課後	<input type="checkbox"/> 下校が早い、またはいつまでも一人学校に残っている <input type="checkbox"/> 玄関や校門付近で、不安そうな顔をしておどおどしている <input type="checkbox"/> みんなの持ち物をもたされている <input type="checkbox"/> 通常の通学路を通らずに帰宅する <input type="checkbox"/> くつやかばん、傘などの持ち物が紛失する、またはいたずらされる
その他	<input type="checkbox"/> 教科書や机、掲示物にいたずら書きされる <input type="checkbox"/> たたかれる、押される、けられる、突かれるなどちょっかいをされる <input type="checkbox"/> ひとり言を言ったり、急に大声を出したりする <input type="checkbox"/> 教師と視線を合わさない、話す時に不安そうな表情をする <input type="checkbox"/> 宿題や集金などの提出が遅れる <input type="checkbox"/> 刃物など危険なものを所持する

12 いじめ発見チェックリスト（保護者用）

いじめを早期に発見するために最も大切なことは、日ごろからお子様の様子を
しっかり見ることです。

お子様の様子や持ち物などのちょっとした変化で気になることがあれば学校に
ご相談ください。

- 衣服の汚れが見られたり、よくけがをしたりする。
- ふろに入りたがらなくなる。裸になるのをいやがる。
(体の傷跡やあざなどを見られるのを避けるため)
- 買い与えたものが紛失したり、壊されたり、落書きされたりする。
- 家庭から品物やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする。
- 食欲がなくなったり、体重が減少したりする。
- 寝付きが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
- 激しい口調の寝言や助けを求める寝言を言ったり、うなされたりすること
が多くなる。
- 表情が暗くなり、言葉数が減る。
- いらいらして反抗的になったり、急に口数少なく元気がなくなったりする。
- 部屋に閉じこもりがちになり、ため息をついたり、考え事をしたりする。
- 言葉遣いが荒くなり、親や兄弟姉妹に反抗したり、ペットをいじめたり、
物に八つ当たりしたりする。
- 親から視線をそらしたり、家族から話しかけられることを嫌がったりする。
- 刃物など、危険な物を隠し持つようになる。
- 登校時刻になると、頭痛・腹痛・吐き気などの身体の不調を訴える。
- 学校を早退したり、用事もないのに帰宅時間が早くなったり遅くなったりする。
- 転校を口にししたり、学校をやめたいなどといったりする。
- 親しい友人が来なくなり、見かけないものがよくたずねてくる。
- 不審な電話や嫌がらせの手紙やメールがくる。
- 自己否定的な言動が見られ、死や非現実的なことに関心をもつ。
- 投げやりで集中力がなくなる。
- テレビゲームに熱中し現実逃避しようとする。
- 急に学習時間が減ったり、宿題をしなくなったりする。
- 急激に成績が下がる。

「いじめ」に関するアンケート

6年 組 名前 ()

○このアンケートは、みなさんの生活の中の「いじめ」について調べるものです。このことによって、あなたにめいわくがかかることはありませんので、正直に教えてください。ただし、この対象期間は、4月から今日までの間です。

◇当てはまる記号に○をつけましょう。

問1 あなたは、4月から今日までの間、いじめを受けましたか？

ア はい イ いいえ

※ ここからは、問1で「ア はい」と答えた人にききます。

問2 それはどのような内容ですか？
(○をつけるのはいくつでもよい)

ア 悪口やいやなことを言われる
イ 仲間はずれや無視をされる
ウ 軽くぶつかられたり、たたかれたり、けられたりする
エ ひどくたたかれたり、けられたりする
オ お金やものをとられる
カ 持ち物をかくされたり、こわされたりする
キ いやなことや、あぶないことをさせられる
ク パソコンや携帯電話でいやなことを書き込まれる
ケ その他

問3 このことを、だれかに話しましたか？

ア 家族
イ 先生
ウ 友だち
エ その他
オ だれにも話していない

問4 それは、今、解決していますか？

(ア はい イ いいえ)

◎先生に話したいことがあれば、自由に書いてください。

〈いじめ問題対応フロー図〉

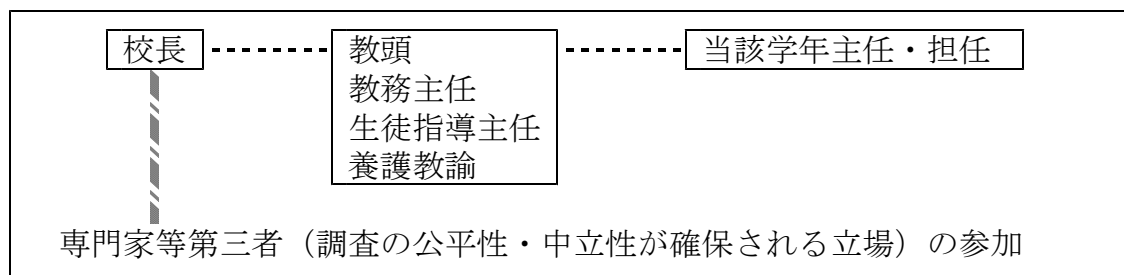
いじめの疑いに関する情報入手

- いじめの事実の確認、結果を設置者に報告
- 情報の収集と記録、共有

重大事態の発生

- 児童や保護者からいじめにより重大事態に至ったという申立て
- 学校の設置者に重大事態の発生を報告
 - ア) 児童が自殺を企図した場合等
 - イ) 一定期間連続して欠席している場合は、迅速に調査に着手

☆いじめの調査組織を設置



☆事実関係を明確にするための調査を実施

- ・聞き取り
- ・アンケート

☆いじめを受けた児童及びその保護者に対して適切に情報を提供

- ・家庭訪問
- ・懇談

☆調査結果を市教委に報告

☆調査結果を踏まえた必要な措置

